



水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



甲府市環境政策課



水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



開校式・第1回目講義

7月31日 水

開校式

第1回 水素 SUMMER SCHOOL 開校式



7月31日（水）、こうふグリーンラボにて水素SUMMER SCHOOL開校式のセレモニーが行われました。

樋口甲府市長、国立大学法人山梨大学市川理事をはじめ、多くの来賓や関係者が出席され、樋口市長からは受講生に向けて、「私たちの暮らしに水素が浸透する未来を築く、水素の先駆者となることを心から期待したい」と激励の挨拶がありました。

式は終始若き情熱があふれており、見守る職員もワクワクでした！

第1回目講義



【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター長
特任教授 飯山明裕 氏

開校式の後には、第1回目の講義として、「水素の意義、水素・燃料電池とは何か？」について、山梨大学の飯山明裕特任教授よりご講義をいただきました。

講義の中では、水素・燃料電池の使い方や特性、さらには山梨県内における水素エネルギーに関する研究等の現状についてお話いただきました。



水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター
客員教授 岡 嘉弘 氏 ほか

第2回目講義

8月1日 木



第2回目は、山梨大学の岡客員教授による、「燃料電池セルの組立等の体験実習」です。授業の最初に〇×クイズが出題され、なぜ水素が注目されているのかについて、地球温暖化との関係を踏まえながら学びました。

クイズや講義のあとは、いよいよ実験です。シャボン玉を水素ガスを使って飛ばし、素早く天井に上がっていく様子に受講生も興味深々でした。

その後は燃料電池を組み立て、水の電気分解で取り出した水素で、オルゴールを鳴らす実験も行いました。





水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



第3回目講義

8月7日 水

山梨大学 水素・燃料電池
ナノ材料研究センター見学



UNIVERSITY OF YAMANASHI
Hydrogen and Fuel Cell Nanomaterials Center

【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター
特任教授 吉積 潔 氏, 特任助教 稲垣 有弥 氏

第3回目は、フィールドワークとして午前中は山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターを視察しました。

参加者は稲垣さんの説明を受けながら、日頃見ることのできない研究設備に興味深そうに見学していました。

米倉山見学



山梨県企業局

午後からは、県企業局（米倉山）の最先端の水素研究施設にて、水素製造装置であるP2Gシステムの内部を見学したり、入居企業である巴商会の今俊文さんから、企業の水素への取組についてお話を伺いました。



水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



UNIVERSITY OF YAMANASHI
Hydrogen and Fuel Cell Nanomaterials Center

【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター
特任教授 吉積 潔 氏 ・水素関連企業担当者 他

第4回目講義

8月8日 木



第4回目・5回目はワークショップです。大学の方に加え、企業で水素事業に従事するキッツ(株)の久保田智子さんと、東京ガス山梨の坂本潤さんがファシリテーターとして参加してくださいました。

参加者は最初緊張している様子でしたが、久保田さん、坂本さんにアイスブレイクをしてもらいながら、懸命に意見を出し合っていました。

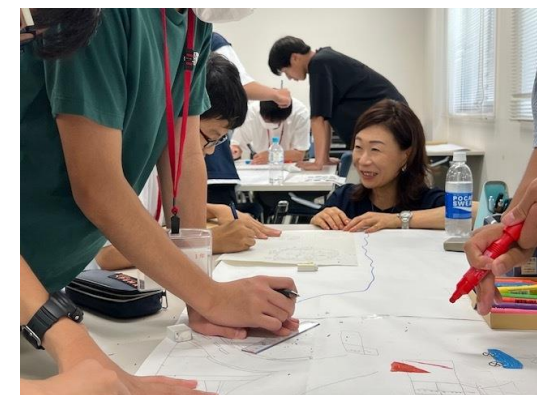


UNIVERSITY OF YAMANASHI
Hydrogen and Fuel Cell Nanomaterials Center

【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター
特任教授 吉積 潔 氏 ・水素関連企業担当者 他

第5回目講義

8月21日 木



第5回目は、4回目で出た意見をもとに、最終回での発表に向けた準備を行いました。今回も前回同様、キッツの久保田さんと東京ガス山梨の坂本さんにご協力いただきながら、各グループごとに出たアイデアを模造紙にまとめていきました。

次回はいよいよ最終回！各チームがどんな発表をするのか楽しみです。



水素 SUMMER SCHOOL 実施記録



閉校式・第6回目講義

9月14日 土

第6回目講義



UNIVERSITY OF YAMAGUCHI
Hydrogen and Fuel Cell Nanomaterials Center

【講師】水素・燃料電池ナノ材料研究センター
特任教授 飯山明裕 氏・特任教授 吉積 潔 氏
他



いよいよ最終回！第4回・5回で各グループごとにまとめたアイデアの発表です。

水素エネルギーで暮らす未来のまちや、水素で動くロボット、水素ロケット等々、感性豊かな若者らしい未来ある発想に驚かされました。発表後は各グループに賞が授与され、飯山特任教授から受講生に賞状が授与されました。

閉校式



最終回の発表の後には、第1回 水素 SUMMER SCHOOL の修了式です。全6回のカリキュラムを終了した受講生に、飯山特任教授より受講証明書が手渡されました。

「この夏、君のミライが変わる。」をキャッチコピーとした本スクールは、若者が主体的に学ぶ要素（アクティブラーニングやフィールドワーク等）を効果的に取り込んだカリキュラムとなっており、山梨大学や山梨県企業局、さらには水素関連企業の協力により、未来の水素社会を切り拓く人材を育成する、非常に夢あるスクールとなりました。



水素 SUMMER SCHOOL